

あなたへの祝日の贈り物

2016年のクリスマスをごルマーイ・チッドヴィラーサーナンダと共に祝う

12月24日 クリスマスイブ

12月24日土曜日のクリスマスイブの朝、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの子どもたちにとって大変嬉しいことに、彼らがサツァングを行っているまさにその時、ごルマーイがアートマ・ニディの下のロビーを通り掛かりました。皆は、前日の夕方に自分たちが装飾した美しいクリスマスツリーの前に座っていました。その場にいた大人たちは皆、愛するごルマーイとシッダ・ヨーガの若い世代がお互いにとても深い愛と尊敬をもって歓迎し合う様子に、クリスマスの精神を体験しました。

それは最初から最後まで愛にあふれた集まりでした。子どもたちはごルマーイにツリーの飾り物を見せ、それから皆でロビーからアンナプールナー・キッチンに歩いていき、そして、たくさん子どもたちが多くの時間をそこで遊ぶ、バール・クンジャという広々とした場所に行きました。ごルマーイと子どもたち、そしてそばにいた皆で、「カーリー・ドゥルゲー・ナモー・ナマー」をチャンティングしました。それは、とても美しい光景でした。

そして、ごルマーイが言いました。「良いアイデアがあります。世界中のシッダ・ヨーガ・サンガムにメリークリスマスを祈るために、アンナプールナー・ダイニングホールの贈り物のツリーの所で、『ハレー・ラーマ・ハレー・クリシュナ』をチャンティングしませんか」

子どもたちはたちまち跳び上がって言いました。「そうしましょう！」

グルマーイ、子どもたち、そして何人かの大人たちが繰り返しチャンティングする声と、ますます増していくクリスマスの精神に浸ることは、素晴らしく神聖なものでした。

チャンティングの最後に、オーストラリアからシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムにセーヴァーをささげに来た二人の 14 歳の子が、グルマーイに歌をささげるとを願いました。グルマーイは、「もちろん」と言いました。彼らは、「ハッピー・トゥゲザー」、「清しこの夜」、「ハレルヤ」を歌い、そして、彼らがグルマーイのために特別に書いた歌を「オペラ座の怪人」の旋律に乗せて歌いました。

彼らが歌い終わり、2014 年のオーストラリアでのシッダ・ヨーガ・チャンティング・ツアー「サッテヤム シヴァム スンダラム」のマネジャーの一人だったルードラ・シャープが、ちょうど昼食のトレイを手にとろうとしたときにグルマーイと目が合いました。グルマーイは言いました。「ルードラ、この子たちの歌を聞きましたか」

ルードラはすぐに二人の所に来て、彼らを褒めたたえました。彼は、この二人がチャンティング・ツアーの歌い手としていかに驚くほどたくさんセーヴァーをささげたかを、皆に話しました。

すると、グルマーイがそばに座っている若い人たちに尋ねました。「ルードラが今話したことの重要な点は何ですか」

一人が言いました。「何度も練習すれば、ゴールに到達できるということです」

もう一人の若者が言いました。「私にもできるということです」

もう一人の子どもが言いました。「彼らの音楽は素晴らしいということです」

最後に、一人の子どもが言いました。「私は、自分もチャンティング・ツアーに参加して、セーヴァーをささげることができると気づきました」

皆が喜んで歓声を上げ、そしてグルマーイが言いました。「その通り！ それを聞いて私はとても嬉しい。そうです！ あなたたちはシッダ・ヨーガの音楽を広めて、この世界を幸せにすることができるのです」

この朝は、すべてがまさに幸せなクリスマスイブでした。

皆さんが、このビデオと写真と体験談を通して、グルマーイの心からのクリスマスのあいさつを体験しますように。